

「新あいち商店街アクションプラン」(仮称)のパブリックコメントに対する意見及び対応

NO	意見概要	県の対応
1	<p>後継者不足等で、解散してしまう商店街が増えている。元気な商店街だけでなく、既に体力を失っている商店街が、もう一度立ち直るような施策が必要だと思う。</p>	<p>様々な状況にある商店街に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの支援施策を充実するとともに、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネート力の強化を図り、地域の多様な主体との連携を促し、活性化を目指す商店街を、きめ細かく支援してまいります。</p>
2	<p>「地域コミュニティの担い手」としての商店街の重要性は、今後一層増す。高齢化社会の進展に伴い、社会福祉に必要な費用の増加や支える人材の不足に対して、商店街が役立つ。今後、商店街は、多様な団体との連携が大切になると思う。</p>	<p>「地域コミュニティの担い手」として、高齢者支援を始め、住民ニーズや地域課題に対応した取組を通じ活性化を目指す商店街を、支援してまいります。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネート力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促してまいります。</p>
3	<p>住民ニーズにペットの観点を加えてはどうか。高齢者を中心にニーズが高く、こうした機能を商店街が持てば、特徴ある商店街として商店街の利用が促進されるのではないかと思う。</p>	<p>県内に、ご指摘のような取組を通じて活性化を目指す商店街があれば、そのニーズに応じて、具体的にどのような支援を行うことができるのか検討いたします。</p>
4	<p>地場産業である窯業の衰退や、商店街の後継者難から、商店街に空き店舗が増加傾向にある。イベントなどの販売促進事業に対する助成支援や、タウンコーディネーターによる人材支援を強化して欲しい。</p>	<p>商店街のにぎわい創出や空き店舗対策に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>また、商店街の身近な相談役であるタウンコーディネーターを愛知県商店街振興組合連合会の支部に配置し、活性化に向けた商店街活動をきめ細かく支援します。</p>

NO	意見概要	県の対応
5	<p>刈谷市には、大企業が数多く集積しているにもかかわらず、駅前や中心市街地における商店街の衰退が著しい。このため、近隣大学との連携など、地域と一体となって取組を行っており、新たに、商店街連盟と商工会議所や市、農協と連携し、地元特産の「坊ちゃんカボチャ」による農商工連携の取組を行っている。こうした取組に対して、一層のサポートをお願いしたい。</p>	<p>農産物を始めとする地域資源を活用し、活性化を図る商店街の取組に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネート力の強化を図り、地域の多様な主体との連携を促してまいります。</p>
6	<p>刈谷市では、農商工連携に係る地道な取組を続けており、行政でも、こうした取組に対するサポートをお願いしたい。</p>	
7	<p>豊田市では、平成 22 年に「豊田市商業振興条例」の改正を行い、市、経済団体、商店街、大型店事業者等が互いに連携して地域の商業振興施策を推進する基本理念を定め、大型店の商店街加入促進と、地域貢献への協力を明文化している。</p> <p>県は、豊田市と同じ問題を抱えている市町村にも、同様の条例が策定されるように、指導していただきたい。</p>	<p>本県が策定した「愛知県商業・まちづくりガイドライン」では、大規模小売店舗等の事業者に対し、地域の経済団体への加入を始めとする、地域貢献に向けた取組事例を示しています。</p> <p>条例の制定につきましては、各市町村の判断が尊重されるべきものと考えておりますが、引き続き、ガイドラインの地域貢献事例の普及啓発に努め、大規模小売店舗等による地域貢献活動を促してまいります。</p>

NO	意見概要	県の対応
8	<p>「活性化モデル商店街」で取り組まれた「一店逸品運動」や「まちのゼミナール事業」といった具体的な成功事例を見て、自分たちの商店街でも何か出来ると、創造意欲が湧いた。</p> <p>プランにある「成功例」の普及を通じた店主の意欲喚起は重要であり、「活性化モデル商店街」を参考に、地域にあった取組を行うとともに、各種団体との連携強化を図ることが必要。</p>	<p>他の商店街の参考となる「活性化モデル商店街」を広域的に普及し、引き続き、多くの商店街の意欲喚起に努めてまいります。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネート力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促してまいります。</p>
9	<p>最寄品や生鮮三品を取り扱う商店街が少なく、個店の経営努力とともに、商店街の商品構成が不足している。</p> <p>個店は魅力を高めることにより顧客を増やし、商店街は不足業種を誘致し、商店街全体を盛り上げる必要がある。</p> <p>商店街は、地域住民の需要、要望を取り入れ、商売の原点に立ち返る事が大事。</p>	<p>「逸品づくり」といった個店の魅力を高める取組や、商店街の不足業種を補うテナントミックスの取組などに対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>なお、取組に当たり、商店街には、住民ニーズや地域特性を踏まえ、目指すべき姿や具体的な取組を十分検討することが期待される旨を記述いたしました。</p>
10	<p>少子・高齢化社会では、まち全体で助けあっていくことが大切。住民も商店街や様々な活動している団体に協力してもらうことが重要だと思うので、今回のプランにより商店街を支援していただきたい。</p>	<p>商店街が、「地域コミュニティの担い手」としての役割を果たしながら、地域とともに活性化に取り組む商店街の活動に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネート力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促してまいります。</p>
11	<p>地域の行事に協力してくれる人が年々減っており、商店街や学校など地域の様々な人たちに協力してもらえると助かるので、今回のプランを実行して欲しい。</p>	

NO	意見概要	県の対応
12	<p>周辺には高齢者が多く住んでおり、高齢者が楽しく、安全に買い物が出来るよう助け合うことが大切だと思う。プランに「高齢者の買い物支援」という言葉がありましたが、商店街の方や愛知県に協力してもらいたい。</p>	<p>「地域の安心・安全」や「高齢者の買い物支援」など、「地域コミュニティの担い手」としての商店街の取組に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>また、大規模小売店舗に対しても、「愛知県・商業まちづくりガイドライン」の中で、「安心・安全」や「買い物支援」など、多様な地域貢献事例を示し、地域との共生を目指した取組を促してまいります。</p>
13	<p>地域の組織や商店街では、防犯のため夜回りを実施しており、地域の安心・安全を守る活動を、積極的に応援していただきたい。</p>	
14	<p>商店街の街路灯で、街の安心・安全が保たれている。また、買い物に困る人にとって、商店街は必要であり、特に力を入れて商店街を支援してもらいたい。</p>	
15	<p>多くの商店街が、「子供 110 番」といった地域の安心・安全を守る活動に取り組み、取組地域住民が安心して暮らせるよう支援していただきたい。</p>	
16	<p>商店街は、子供会や町内会と連携し、地域の祭りを絶やさないよう頑張っている。「祭り」を通じたコミュニティの輪が今後も継続し強化されるよう支援してもらいたい。</p>	

NO	意見概要	県の対応
17	<p>「愛知県商業・まちづくりガイドライン」では、策定の背景で、大型店＝悪という論理的展開から入っているため、小売業者の積極的な賛同を得られていないと思う。行政が策定するアクションプランであるならば、どちらかに寄ったスタンスではなく、大規模店舗と商店街の双方にメリットが出てくる仕組みを加えることが良いと思う。</p>	<p>本県のガイドラインは、大規模小売店舗等の出退店が、住民生活や地域経済に与える影響が非常に大きいことを踏まえ、まちづくりの観点から地域との調和を図ることが、地域の住民、商業者のみならず、大規模小売店舗にとっても必要であると考えの下、策定したものです。</p> <p>新たに策定するアクションプランにおいても、商店街や大規模小売店舗等は、ともに地域と共生していくことが、重要であると考えています。</p>
18	<p>大規模小売店舗と商店街が協力し、成功している事例紹介を掲載すると良いと思う。</p>	<p>大規模小売店舗等と商店街との連携事例を始め、大規模小売店舗等における地域貢献活動については、引き続き、幅広い普及啓発に努めてまいります。</p> <p>具体的には、ホームページへの掲載事例を増やし、商店街との連携含め、地域との共生に向けた大規模小売店舗等の取組を促してまいります。</p>
19	<p>小売業の規模別データや空き店舗率など、さらに詳細に分析出来ると、商店の高齢化など様々な実態が見えてくると思う。</p> <p>基本方針にある「成功例の広域普及」は、経営者にとって取組のヒントとなるので、継続して取り組んでいただき、効果測定を行うと良いと思う。</p>	<p>規模別データを詳細に記述します。また、ご意見を参考に、施策の充実を図り、「成功例の広域普及」に努めてまいります。</p>
	<p>市町村職員のコーディネイト力強化について、職員は人事異動を伴うため、市町村職員だけにたよらない人材支援の強化が必要だと思ふ。</p>	<p>街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネイト力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促します。また、外部専門家の派遣やタウンコーディネーターの配置を行うなど、人材面からも、商店街の取組を支援します。</p>

NO	意見概要	県の対応
20	<p>諏訪商店街振興組合では、コンパクトシティを目指す市と歩調を合わせ、市街地再開発事業に関与するなど地域商店街の活性化に取り組んでいる。今後、行政として少子高齢化に対応したまちづくりを進め、買い物弱者対策や医療機関の充実を推進し、住、職、医、学、遊が集積したコンパクトシティの実現を目指し取り組んでもらいたい。</p>	<p>市町村と連携したコンパクトシティの実現に向けた商店街の取組に対しても、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p>
21	<p>プランは、衰退している商店街の活性化に対する支援の重要な骨子になり得ると思う。ただし、成功例の普及支援に特化しすぎると、プランを近視眼的に定義してしまう恐れがある。</p> <p>各商店街は、それぞれの規模や環境等に応じ到達目標が異なるため、商店街を構成する人々が、自ら実態を把握し、あるべき姿を描き、衰退の原因を外部環境に転嫁することなく、継続して行動することが必要であり、「施策展開3のコーディネート力と人材支援の強化」にそのような要素を入れると、なお良くなると思う。</p>	<p>素案「4(5)関係者への期待」において、商店街に対し、立地環境や住民ニーズ等を踏まえ、目指すべき目標を定めるとともに、取組の実施に当たっては、進捗状況や成果を適時に検証し、必要に応じて修正する作業を繰り返し行うことの重要性について、記述しています。</p>
22	<p>プランの狙いや方向性、施策展開はかなり参考となり、今後の発展に期待したい。</p> <p>一方で、個人的には、商店街の活性化は「誰のため」、「何のため」か、また、「地域コミュニティの担い手」としての機能を商店街に期待するのは妥当か、などの疑問が湧いている。</p>	<p>商店街には、「身近な買い物の場所」を提供するとともに、「地域コミュニティの担い手」として役割を果たすことに対する期待が高まっています。住民ニーズや地域課題に対応した取組を通じて活性化を目指す商店街に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p>

NO	意見概要	県の対応
23	<p>商店街の人材不足への対応は急務であり、タウンマネージャー等への支援が必要だと思う。</p> <p>また、商店街活動の弱体化も進んでおり、まちづくりの観点から、支援先をまちづくり会社等まで拡大することが必要ではないかと思う。</p>	<p>商店街の身近な相談役として、タウンコーディネーターを愛知県商店街振興組合連合会の支部に配置し、商店街の活動に対し、きめ細かく支援してまいります。</p> <p>中心市街地活性化法に基づく認定構想推進事業者（TMO、まちづくり会社）についても、助成制度の支援対象とし、地域と一体となって取り組む商店街の活動を、支援してまいります。</p>
24	<p>商店街が生き残るためにも、「地域コミュニティの担い手」としての役割は確かだと思う。商店街は景況が厳しく、ゆとりがないため、店主の負担を軽減するために、多様な団体との連携が必要。また、そうした取組を通じた来街者を個店に取り込んでいくことが課題。</p> <p>成功例を参考に、商店街が自らの地域特性に落とし込んでいくことが必要。</p>	<p>「地域コミュニティの担い手」としての取組を進める上で、地域の多様な主体との連携は重要であり、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネイト力の強化に努めてまいります。</p> <p>また、成功事例については、それを活性化に向けた取組の一つの参考にしていただき、各商店街には、自らが置かれた環境等に応じた取組を推進していくことが必要であると考えています。</p>
25	<p>「まちづくり三法」の改正により、まちづくりや中心市街地の活性化への意識が変わり、取組も改善された。</p> <p>これからの商店街は、単なる商機能重視だけでは活性化どころか存続すら危ぶまれるという現実を突きつけられている。そのため商店街は、実態や、住民ニーズ、社会環境等を踏まえ、地域にあった商店街づくりを行い、地域全体が活性化するための役割を果たすことが重要である。</p>	<p>「身近な買い物の場所」としてだけでなく、「地域コミュニティの担い手」として、地域の多様な主体と連携して活性化に取り組む商店街に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>なお、各商店街には、自らが置かれた環境等に応じた取組を推進していくことが必要であると考えています。</p>

NO	意見概要	県の対応
26	<p>若い後継者を取り込まなければ、将来的な展望は見えない。若者が読む雑誌に、中心市街地の空き店舗で営業を行っている若者の特集を組んでもらえるよう、県が働きかけてはどうか。</p>	<p>次代の商店街を担う若手の人材を育成することは、大変重要な課題であると考えています。学生による商店街の空き店舗活用など、若者と連携した取組についても、ホームページ等を活用し、幅広く情報発信してまいります。</p>
27	<p>春日井市では、外出が不自由な高齢者の増加や、中心市街地の疲弊、公共交通機関の縮小などにより、買い物弱者対策が急務となっている。このため商店街主導による巡回バスの運営（平成 22 年に廃止）や社会福祉協議会と連携した出張販売を行っている。買い物弱者問題は、放置出来ない問題であり、商店街としても地域の安心・安全を守る観点から取り組むべきだと思う。</p>	<p>買い物弱者対策など、住民ニーズや地域課題に対応した「地域コミュニティの担い手」としての商店街の取組に対し、助成制度や外部専門家等の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p>
28	<p>小学校に近く、学校で行われる町内会の催事に協力してきたが、最近では参加しない若者が増えて、うまく機能しなくなっている。</p> <p>住みやすい地域をつくりたいと考えているが、どうしたらいいかわからない。一緒に考えてくれるアドバイザーを派遣して欲しい。</p>	<p>商店街の身近な相談役となるタウンコーディネーターを、愛知県商店街振興組合連合会の支部に配置します。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネイト力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促すとともに、商店街に対し、外部専門家を派遣し、地域とともに取り組む商店街活動を、きめ細かく支援してまいります。</p>

NO	意見概要	県の対応
29	<p>昔の商店街は賑わいがあったが、最近は大手スーパーには品数や価格の面で勝てず、子供に跡継ぎさせることも出来ないため、多くの商店街で空き店舗が増えている。大須などでは若いリーダーが引っ張って賑わっているが、多くの商店街のリーダーは高齢化している。専門的なアドバイスが出来る人を県内の各地域に配置してはどうか。大須のような賑わう商店街が増えると思うので、行政に支援して欲しい。</p>	<p>商店街の身近な相談役となるタウンコーディネーターを、愛知県商店街振興組合連合会の支部に配置します。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネイト力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促すとともに、商店街に対し、外部専門家を派遣し、地域とともに取り組む商店街活動を、きめ細かく支援してまいります。</p>
30	<p>消費者が求める物や人々の購入スタイルの変化によって、対応できず閉店する商店が増えている。</p> <p>経営がうまくいかないのは、経営者の責任であり仕方ないが、個店の経営についてもアドバイスして欲しい。</p>	<p>商工会議所や商工会による経営指導のほか、各支援機関や本県融資制度などを活用し、商店街の個店に対する経営支援を行ってまいります。</p>
31	<p>コミュニティの復活に商店街は大きな役割を果たすと思う。個店における商品の価格や品質への努力とともに、商店街の顧客サービス（安心・安全、休憩スペースの確保、子育て支援、買い物支援など）が心温まるコミュニティを生み出すと思うので、プランが実行されるように期待する。</p>	<p>「安心・安全への取組」や、「高齢者の買い物支援」、「子育て支援」など、「地域コミュニティの担い手」としての商店街の取組に対し、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p>

NO	意見概要	県の対応
32	<p>アーケードなどの投資的経費や、空き店舗賃料助成、経営指導員や公務員の人件費などのソフト経費も含め、過去の投資額や効果について明記すべき。</p> <hr/> <p>税金で、商店街にアーケードなどの投資を行う場合、毎日店を開けることを義務づけ、一定水準に満たない場合は多額に課税し、空き店舗を保有していることが損になるような税制があると良い。</p>	<p>ご意見を参考に、プランにおけるこれまでの取組の評価に関する記述の充実に努めてまいります。</p> <p>なお、商店街活性化の効果には、街の安心・安全といった定量的な評価にはなじまないものがあることにも留意する必要があると考えております。</p> <hr/> <p>商店街のアーケード設置への助成に関し、個店に対して一定の行為を義務づけた上で、それが履行されない場合に課税を行うといった制度を設けることは、支援の趣旨や、課税の公平・中立の観点から困難であります。</p> <p>なお、空き店舗対策としては、土地の譲渡所得特別控除といった税制上の措置や賃料助成のほか、チャレンジショップ、コミュニティ施設への運営支援など、多様な支援施策を活用していただくことが考えられます。</p>
33	<p>商店街は、空き店舗や後継者問題を抱えながら、各種イベントに取り組み活性化に貢献している。</p> <p>行政には、地場産業・観光を結びつけるネットワークづくりや助成金の支援強化を要望したい。</p>	<p>地場産業の特産品や観光などの地域資源を活用した商店街の取組に対しても、助成制度や外部専門家の派遣などの施策を充実し、支援してまいります。</p> <p>また、街づくりにおいて中核的な役割を担う市町村のコーディネイト力の強化を図り、商店街と地域の多様な主体との連携を促してまいります。</p>